

城原川ダム事業の検証に係る検討に関する意見募集について  
～治水対策案について～

①氏名(フリガナ)	嶋津暉之 (しまずてるゆき)				
②住所					
③電話番号又はメールアドレス					
④職業	なし	⑤年齢	71歳	⑥性別	男
⑦ご意見（下記の項目毎に200文字以内で記載してください。なお、ご意見が長文の場合は、別途自由様式で記載してください。その場合は、下記枠内に要旨を200文字以内で記載してください）					
1) これまでに提示した複数の治水対策案以外の具体的対策案の提案					
<p>城原川の治水対策案はその基本的前提を根本から見直す必要がある。すなわち、治水計画の目標流量540m<sup>3</sup>/秒が過大、河道目標流量（将来の流下能力）330m<sup>3</sup>/秒が過小であるので、適正な値に是正することが必要である。さらに、城原川の伝統的な治水対策「野越」の治水効果を正しく評価すれば、城原川ダム無しに必要な治水安全度を十分に確保することが可能である。</p> <p>詳細は別紙1のとおりである。</p>					
2) 複数の治水対策案に係る概略検討及び抽出に対する意見					
<p>治水対策案⑨「遊水地（地役権方式）＋河道の掘削＋部分的に低い堤防の存置」は、城原川の伝統的な治水対策「野越」も入れた案であるが、治水計画の基本的前提が誤っているため、超巨額の費用が必要となっている。基本的前提の誤りを正せば、野越が城原川ダムに代わる有効な治水対策になる。</p> <p>詳細は別紙2のとおりである。</p>					
3) その他の意見					
<p>城原川ダムを流水型ダム（穴あきダム）として計画されようとしているが、流水型ダムは、大洪水時には閉塞して洪水調節機能を喪失する危険性があり、また、河川環境に多大な影響を与えるものであるため、建設してはならない。</p> <p>詳細は別紙3のとおりである。</p>					

※頂いたご意見に関しての個人情報は、目的以外では使用致しません。